

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

議会広報広聴調査会記録

平成 28 年 2 月 1 日(月)

10 : 00 ~ 11 : 15

議会 第 1 委員会室

【出席者】 芦谷委員長、串崎副委員長

足立委員、岡野委員、柳楽委員、小川委員、野藤委員、
飛野委員、平石委員、牛尾昭委員

【事務局】 外浦次長、田中書記

議 題

1 平成28年度 議会報告会について

昨年同様2回開催とする。

- ・ 5月は10会場で行う。本会議の報告と意見交換とする。
- ・ 10月は意見交換のみ
- ・ 次回会議予定：平成28年2月15日(月) 16 : 00～(予定)

2 その他

行政視察について

視察日：平成28年5月16日～18日

視察地：後日報告

【議事の経過】

[10時 00分 開議]

芦谷委員長

ただいまから議会広報広聴調査会を開催します。議題にありますように28年度の議会報告会についてです。色んな都合で、今日方向性を出したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

1. 平成28年度 議会報告会について

芦谷委員長

前回までで、これまでの方法と井戸端会も噛み合わせるという方法と、更に加えて18歳選挙権の引き下げに伴って、高校生や学生もどうかということがあったので、事務局も含めて我々で準備をしてきました。従って今日はそのことを説明していただき、最後には一定の方向を出そうと思っています。

なお、都合により11時半頃までに終わっていただきたいと思います。後の日程がありますので、よろしくお願いします。

まず最初に、前回副委員長から指摘がありました関係で、事務局の方で他市の状況等の資料を用意していますので、説明をお願いします。

田中書記

(以下、資料をもとに説明)

芦谷委員長

皆さんから意見はありますか。

牛尾昭委員

事務局から説明があったように、これまでの経緯に書いてありますが、議会報告会ということで去年は鎌倉に行ってオープンミーティング方式知り、秋はその形式で二度目をやって、とりあえずは成功だったと感じています。始めたばかりなので、先ほどは非公式な言い方をしましたが「議会報告会の流れが変わったんだね、知らなかったから行けば良かったかな」という方もたくさんおられて、もう決まっているから行かなかったという人もいらっしゃったんですが、面白くなったんだなという方もいらしたので、去年並みに例えば春はどちらかと言えば一方通行型、秋は意見交換会のように去年方式にやるのも一つの考え方。2年目になるので春も当初予算については議会だよりや市報でも出ますから、それについてポイントだけ質疑を受けて、後半はテーマを絞り込んで意見交換会をやるのも一つの手かなと。そして秋には純然たる意見交換会をするというようにして、去年よりも少し枠を広げてやるという手もあるのかなと思います。

それと先ほど言ったように、もう1年くらい去年並みにやってからという考え方もあると思います。

芦谷委員長

はいありがとうございました。他にありませんか。

野藤委員

春は予算がありますので、その年にどの事業があるのかを説明しないと

いけないのもあって。さらっと流して後半に対話形式をやった方が。基本的には対話形式だと思うんですよ。その方が良いのかなと。ただ思ったのは、説明をするのでもグループ形式、島にしておかないと、学校形式だと途中で入れ替わるのもあれなので、島のようなグループ形式で座っていただいておいてから、説明をして後半にそれぞれ入ってやるようにした方が、スムーズに行くのかなと思います。進め方というかセッティングです。

芦谷委員長
牛尾昭委員

他にありませんか。

僕は最初全体で学校方式でやって、後半は島でやろうかと思っていたけど、野藤委員の意見は非常に良いので。対面方式だと誰か代表の方が一通り喋って終わりでしたが、グループを例えば3つか4つに分けたら、担当委員がそれも全部背負って自分の中で噛み砕いて予算の説明をする、その後に意見交換しましょうかということで。議員の負担は増えるけど逆に力が付くような。そのように最初からやって、ただやり方は予算について最初に喋るけど、後は意見交換会ですよという。めいめいのテーブルで同じことをやる。そういうのが良いんじゃないかと、野藤さんの意見を聞いて思いました。

芦谷委員長
足立委員

他にありましたらお願いします。

基本的には昨年から年2回にされたのでその部分は踏襲しながら、もう一年様子を見たいなというところと、牛尾昭委員が言われたように形式が変わったので参加してみたいと言われる方がいる一方、春のことをイメージして秋に参加された方から「イメージが全然違った」というご意見もあって、市民の受け止め方が様々あるなと思いました。

ということで、出来れば今年度も昨年のような形でもう一度やってみて様子を見てみたいという点。それから、流山市議会が常任委員会別に分かれています、昨年思ったのが、テーマが結構大きすぎるという意見もありました。市民からしたら、あまりにも雲を掴むような話も含まれているし、自分の地域に該当することもあるし関係のないこともあるということで。そう考えた時に、常任委員会ごとで各班を分けるというやり方ならテーマを絞り易いかと。産業建設なり福祉環境なり総務なり、テーマを分け易くなるのかなと受け止めていました。もしそういったことが今後可能なら、取り入れるのも一つの手かなと思いました。

飛野委員

色んな話の中にテーマの話がありました。私ちょっとお聞きしたいのが、去年やった時、弥栄については私も携わったので分かりましたが、メインテーマとサブテーマを決める際に、例えば農業の話で支所と事前に打合せというか。例えば弥栄ならこういう農業の問題があるので、だったらこの

ような中でというようなやり取りをしたわけですけど、他の会場についてはそれがあったのかなかったのか。逆に言えばああいう形で事前に支所を巻き込んでやることで、非常に良い形が出来る部分があるので大切にしていっての方が良いのではと思います。

芦谷委員長
田中書記
牛尾昭委員
田中書記
芦谷委員長

弥栄は農業だけだったのかな、事前に支所と突き合わせたのは。

そうですね。班では……。

僕らはやったけど、他の班のことは分からない。

班では何回も。

他の班は別になかったですよ。執行部との色んな打合せをしてから…
…。

野藤委員
芦谷委員長
牛尾昭委員

打合せはないですね。

だから弥栄支所の農業問題だけはされたと。

農業というよりも、弥栄支所長に来てもらって、弥栄の問題はどうですかと。どうせ行くなら意見交換会は皆さんが求めているものをテーマにしようということでやったわけです。

飛野委員
芦谷委員長
牛尾昭委員

あれは良かったと私は思います。

他にはありませんか。

流山に行った時、こんな話なかったよな。常任委員会で議会報告会やっているという話は。最近なのかな。流山は一昨年行ったじゃない。

田中書記
足立委員

はい。あの時も……言っておられました。

かすかに触れられました。これ見たら委員会ごとにテーマが変わって、これなら各議員も組みやすいかなと思ったので。

牛尾昭委員

ただ、このテーマ見るとやはり東京近郊のテーマですよ。放射性廃棄物の取扱いについてとか。

野藤委員

住民目線でいくと、例えば弥栄の話題でこういうことを聞きたいという要望を事前にとるかということはないですか。我々からテーマを提示するのではなく、逆に市民からのテーマ設定みたいなものは。

田中書記
野藤委員

希望等は取ってないですね。ここで決められたものです。

例えば市街地なら、浜田城の整備計画関係のあたり。住民説明会もありますが、聞きたいものが上がってくればそれを取り上げるとか。金城であればこのたびの水道関係で、何故金城だけが酷かったのかみたいな所を聞きたいと思えば、そういったテーマも出るだろうし。そういうことが来場者の増加に繋がるのかと思ったり。こちらからのテーマ設定でなく、住民からのテーマ、要望をある程度聞く。広聴というスタンスを持ったらどうかと思うんですが。

芦谷委員長

そういう意見も出ましたが、他の方はどうですか。是非発言のない方お願いします。

牛尾昭委員

重ねて発言しますが、意見交換会は去年とにたくやってみようということで。僕らも今までの議会報告会にある種の閉塞感を持っていたので、新しい形でやってみようということで。鎌倉の現場は見なかったけど、ひとまず違う方向が見えてきたと思うんだけど、まだ1回しかやってませんから、とりあえずそのやり方をある程度踏襲しないと、まだたった1回しかしてないわけだから。それをやる時に少し膨らませるのは良いけど、原理原則論からそんなにまだ外れない方が良いような。まだそんなに色んなことを望むようなレベルじゃないような気がします。

去年の反省を見れば、例えば弥栄班は支所に言って支所内の日常的な問題について手を挙げてもらった。それは僕らよりも支所関係の方が一番詳しいので、係長まで来て「是非こういうことをやってくれ」ということがありました。ただそれは弥栄という狭いエリアだったから拾い上げやすかったんだろうけど、では旧浜田はどうするか、また違う問題があると思うので。野藤さんの意見に少しプラスして、ある程度こちらがテーマ設定をして、もう一つは市民から投げかけられたテーマを少し出してもらって。事前に吸収出来れば良いんだけど、出来なければその場で吸収しながら皆で絞り込む方法をとるべきかと。事前調査をすると元気の良い方やマニアの方ばかりのテーマになってもいけないので。今年2回目だからそんなに膨らませても大変なような気がします。

芦谷委員長

だいたい今までどおりということで。市民の対応やらテーマ設定等については議論の余地がありますが、こんな感じで議論が出ましたけど、何か他に意見があれば。

足立委員

それと、議会報告会の最終目的です。流山市は議会側でやることを第一として、参加者の人数を増やすことが一番ではないということが確かあったように記憶しています。人数を増やすためにこれをやるのか、それとも議会側の共通認識なのか、議会側の組織結成力を向上させるのか、どこを第一主観に置いていくのかと思ったんですが。私がこれまで参加させてもらった中で思うのは、もちろん参加者が多いに越したことはないですが、あまり参加者を増やすことばかり主観に置いて目的を見失ってもいけないので、飽くまでも定期的を開催することによって議会というものを市民に幅広く浸透させるという最終目標を念頭に置きながらやってみたいと思います。最終ゴールをもう少し明確にしておいた方が、議員もより一層動きやすいかと思いますがいかがでしょうか。

牛尾昭委員

いまの話ですが、議会基本条例の中に謳い込む時に色々議論したのは、例えば市長は執行部を持っている。浜田で言えば行政連絡員会議とか市民とのツールを持っているわけです。全国的に言われているのは、議会の存在価値がどんどん薄くなっていく、議会が本当に必要なのかという声もある中で、条例できちんと謳って議会の存在意義であるとか、そういうものをちゃんと確認しようというのが議会報告会に折り込んだ意味なんですよ。我々は議決権はあるけど執行権はないわけで。議会と言えば共同体で市長は一人で、そういう中でやっていくわけだから。議員は市民との距離を近づけることを日常茶飯事的にやっているけど、それは個々でやっていることであって議会としてやっていないから、やるべきではないかということで議会報告会が提案されたので。我々の存在価値や議会の認知度を含めて、議会がなければいけないんだということを市民にアピールする機会の一つだと思っています。僕はそれがゴールだろうなど。そこから市民の多様な意見を吸い上げて、素晴らしい意見なら一般質問で政策提言するか、もしくは条例を作る方向に行くかもしれないし。そういうことが議会報告会の中で……議会報告会はやるべきだと思いますが加えて思うので。僕はそれが当面のゴールではないかと思っています。

芦谷委員長

はい。一旦話題を切り替えて、もう一枚の資料をご覧ください。高校生の選挙授業ということで、水面下で調整してみました。また先ほどの話題にかえりますが、一旦これを聞いていただいて次へ進めたいと思います。

選挙権が18歳に引き下げられます。従って丁度旬な話題なので是非大学や高校で出来ないかと、少し水面下で探ってみました。ここに書いてあるように、時期、対象、対応、その他とありますので見ていただきたいと思います。早い話が学校行事に組み込んで2時間あてていただいて、1時間は選挙制度等の啓発、後半1時間は市議会からの市制状況報告と市制に対する意見を貰うことを主眼としながら、各学校から意見を貰いました。状況ですが、市の選挙管理委員会では2月10日と17日に浜高と商業の3年生を対象に、講堂で説明会を開催する予定だそうです。浜高は検討したいとはおっしゃったが5月の連休明けでもあるしかなり難しいという感じでした。浜商は2月に県教委から教育の考え方が示されるのでそれらを含めて検討したいということなので、やや前向きでした。水産高校は市選管の説明会が行き違いで無いようで、検討したいが社会科の授業がないのでホームルーム等でやっても出来るとのことでした。県大は先ほど行ってきて、結局は難しいという方向でした。既にカリキュラムを組んでいるし、もしやっ

加でやってもらうことは、今から話をすれば可能とのことでした。リハビリカレッジでは検討するとのことでした。高等看護学校についてはカリキュラムの都合で時間が取れない、准看は検討する、ビューティーカレッジも検討するとのことでした。旬なテーマなので是非18歳高校3年生等で出来ないかという意見もあったもので、少し探ってみましたらこういう状況でした。今ここに来て考えるのは、この中でもしやってくださる所があれば、議会報告会でも井戸端会でも良いですが、そういった形式を少し学校側に切り替えてやれるのかなと思っています。これはまた頭の隅に置いていただいて、今までの報告会のあり方について更に議論をしてもらえればと思っています。

びっくりしたんですが選挙管理委員会に聞けば、水産高校との電話のやりとりで、しなくて良いというような話だったらしいです。本当なら市内3校ともなさったら良いのになと感じます。2月10日と17日に、選管の職員が浜高と浜商へは出向いてパワーポイントで説明されるそうです。

市議会がする場合はどうしても6月議会前なら5月ですし、10月ならこの問題がピンボケになりますし。だから水面下で調整をしてみたんですが。

足立委員

学校は教育現場ということで、なかなか選挙というものを受け入れられないのであれば、新卒の若手交流会のようなものがありましたよね。産業経済部の。

牛尾昭委員

新規就職の研修があるな。

足立委員

例えばあれが18歳か19歳の子どもが広島かどこかに1日、企業に採用された人を……。

例えばそこで少しだけお時間をいただいて、バスの中なり道中で説明時間をいただいたり、冒頭で10分ほど頂くとか。教育現場が難しければ18、19歳に対してそういう場でやらざるを得ないのかと感じました。もし可能であれば。

野藤委員

行政がするというならだが、議員が行ってするという点がなかなか……関与の仕方が、相手の取り方によっては非常に難しいのかなと思ったりしたんですよね。他市の状況はどうなんでしょうか。学校説明会に一緒に行っても思いましたが、これは一緒には出来ないなと思ったり。

田中書記

選挙活動になるということですかね。

野藤委員

極端な言い方をすれば、選挙活動にもグレーなような気がなんとなくしたんです。

牛尾昭委員

候補者本人が言うわけだから。

野藤委員

だからその辺が、取られ方によっては難しいなと。

足立委員

ただ、18、19歳の新規採用者向けの説明は、例えば議員が行かなくても議会事務局が行ってもらっても良いですし選管が行ってもらっても良いので。要は選挙は国民の義務ですから、議員が別に行かなくても誰が行っても良いんですよ。選管に行けば済むだけの話ですから。

野藤委員

「してください」という話ですか。なるほど。

牛尾昭委員

益田はどうも選管に議会がついて行くようです、新聞によると。昨日益田の議長にそのことを聞こうと思っていて聞きそびれたんですが。多分新聞によると選管が説明する中で直接疑問があれば、選管が答えること、議会が答えることというようにセットで行くみたいで。選管がメインで議員が付いて行く形のように。それなら選管に言って何か議会で答えるようなことがあれば随行するので振ってください。無ければそのまま帰りますけどというように、柔らかなアプローチも良いんじゃないかと思ったりします。

小川委員

今回の一般質問にて18歳の選挙権の関係で発言させてもらったりして、多少研究した部分もあるんですけど、進んだ県の事例で言うと、県議会議員の数と県内県立高校の数がほぼ同じなので、自分の選挙区以外の所を指定して、この議員はこの学校と決めて、そこで1時間取って話をする取り組みをやっておられる県があると聞いています。そういう意味では野藤委員が言われたような懸念もあるとは思いますが、片方ではそういうことをやりながら、都合がつかない所は代わりのどなたかが行く、ということを取り組まれている県もあると聞いています。選挙管理委員会は答弁されたように、浜高と浜商だけはやるという話になってはいますが、これに対し議会としても何らかの形で関わって行って、学生議会みたいな形でも出来るような方向に繋げていくことが出来れば非常に良いと思います。委員長がこうして各学校にあたられて状況を掴まれたというのは、ご苦労されたと思います。それに結びつくような取り組みを考えた方が良いんじゃないかと思います。

芦谷委員長

はいありがとうございました。他には。

岡野委員

先ほどのお話を聞いて、県立大学があまり前向きではないということですが、県立大学は人数も多いし、投票所が今回県立大学に設置されることで、投票を促す意味でも自主開催だとしても県立大学ではやった方が良いのではないかと。投票率の向上も一つのテーマですし、初めて選挙に行った時にどうやって良いのか、どこへ行けば良いのか分からない。例えば参議院と衆議院の違いさえ分かってない、比例代表と個人だとか。それらも含め制度自体の説明をすることは、議会として充分出来ると思うので、

選管に頼んで良いですが議会がやっても自己宣伝にはならないと思うので。特に7月3日から10日が参議院選挙だと思うので、そうすると5月くらいが一番良いのかと思いますし、県立大学については何とか場所を借りるなりしてやった方が。行ったことない人にとっては未知の世界なので、基本的なことを説明するのは全然邪魔にならないと僕は思います。その点をご検討くだされば良いと思います。

芦谷委員長

重ねて言いますと、5月なので県大は少し時間が無いと。学生の自由参加の方法なら先生方と相談すれば可能であるというお話でした。岡野委員の話聞いて、どうしても出来るなら、何かの形で県の教委や選管のこともあるでしょうが、その所をにらみながら県大に対して何らかのことをやってみる余地はあるなど感じています。

牛尾昭委員

事務局にお尋ねしますが、18歳に引き下げられることによって選挙に対する広報とか、多分今まで想定していないですよ、この広報広聴委員会の中では。

外浦次長

そうですね。

牛尾昭委員

そうすると、今日は議長が居ませんが、議会全体の中でその役目を取りあえず広報広聴委員会窓口で背負うんだということを、議会の中で認識しておいてもらわないと。やるのは良いが議会全体でそういう認識を持ってもらわないと、所管を越えて僕らがやった時に非公式だったら、何だお前らとは言われた時に困るので。議会内の同意を、せめて正副議長にはそういう相談をすることが必要ではないかと、今ふと思ったんですがどうでしょうか。

外浦次長

そう思います。この話が出たのが議会報告会の方策の中ですから、報告会としてやるという方向ですとこのままでも良いかと思いますが。

牛尾昭委員

選挙権のない人の前で報告会と言ってもなかなか辛い部分があるんじゃないだろうか。そこはやはり、何故投票に行かないといけないとか、そういう基本的なことを喋らないといけないと思うから。広報広聴がやりなさればという所から、そんなに時間がかかるものではないと思うんだけど。別段問題が無ければ良いが。

外浦次長

実際、正副議長との話の中で、それは広報広聴ではなく他の所でということになるかもしれませんが。

牛尾昭委員

だからそうなった時には困るから、逆に言えば広報広聴が背負うべきものなのか、議会としてやっていくべきなのか。

外浦次長

と思いますけど、はい。

小川委員

議運に振ってみたらどうですか。

牛尾昭委員 今まで気づかなかったごめんね。

串崎委員 選挙管理委員会の考え方はどうなっているんですか。要するに議会に対してどの程度のことを求めているか、まずその部分がどうかと思います。議員も携わって一緒にやると思っておられるのか。元々選挙管理委員会の考え方はどうなのか。

田中書記 選管に一度問い合わせた時には、浜高と浜商の、2月の話をされたんですけど、うちと一緒にするという考えは全く無いです。選管独自で、県の選管が県立高校でやりたい所は手を挙げてくださいと言われて、この2校が挙手されて決まったんですけど。議会側で出ている話はちょっとしましたが、全くそういった気持ちは持っておられないです、自分たち独自であるという考え方だと思います、今の所は。

串崎委員 なら別に、報告会の中での説明と言ってもそれは若い方が分からないこともあるし、今日来られた方も若い人が見られたら「こういうことだから出来るだけ選挙に行ってくれ」と促すだけであって、広報広聴が言われるようにそこまで携わるべきかどうかと。求められたら携わらないといけなと思います。そこまで考えなくて良いのかなと思います。

田中書記 今の所はそういうことは考えていませんと言われましたが、こちらから何か言えばまた変わってくるかもしれませんし。

串崎委員 野藤委員のおっしゃるように宣伝になってもいけませんし。

芦谷委員長 選管で話した時に、いま言ったとおりなので。淡々と選挙を執行するために18歳に変わったということを担当が説明するので、他のことまで考える余地は全くなかったということです。

串崎委員 尚更言うように、議会報告会をする中で促す、変わったからお願いする。18歳より若い方もおられるかもしれませんが、この前の三隅の井戸端会には学生がいらっしやったので、各地にもいらっしやるかもしれない。ですけど会議の中で一言添える程度しか出来ないかなと感じています。

小川委員 選管は県の選管から下りてきている資料に基づいてやられると思うんです。それは今後国からこういう形でやるようにということで投票率を上げたりだとかと思うんですが。確かに選挙管理委員会が啓発活動ということで上からの方針もあってやるんですが、議会側としてそこに必要があるかどうか検討する必要があると思います。僕は必要があるという立場ですが、議会としても投票率上げたり政治に関心を持ってもらう、もっと言えば欧米諸国がやられているような主権者教育みたいなものを学校でもっとやるべきじゃないかという気持ちがありますが、そこまで全く行っていないのが現状ですので、少しでも近づけるようにしておかないと、これ

を聞いただけでも、投票に行ってみようとか政治活動に参加してみようということにはならないんじゃないかという気がしますので、議会としても関心を持っていくらか出来る所からやっていくような方向性は確認しておかないと、選管に任せておけば良いのか、議会として関わっていくのか、はっきりさせておくべきだと思います。

牛尾昭委員

小川さんに賛成です。欧米は小学校高学年くらいから政治について語る土壌があります。日本で言えば去年、例えば戦争法案という名前が良いとは思わないけど、若い人が色んな意見を出したという事例もあるので。議会として積極的に18歳以上、20歳以上の人にアプローチするかは考えないといけないことで。我々は次の選挙があるわけですが、貴重な一票をどうするかについて若い人たちに分かってもらうためには、選管がただ淡々と喋るよりも生身の言葉で語るアプローチは議員にしか出来ない気がします。議会としてそういう取り組みをしようと、例えばここで決めて議運で諮って、それからこの委員会がやるならやるべきだということで、一定の制約はあるでしょうがその中で広報活動をやっていくのが良いのではないのでしょうか。

芦谷委員長

分かりました。いまのような話もあることをくんでいただいて、また議論を返して18歳選挙権のことも少し視野に入れながら。今までの議論では、概ね昨年までのとおりで少しテーマ設定なりグループ方式も含めて議論は集約しつつあるんですが更に議論をしていただいて、一応この所では昨年議会広報でやるような形に今なっていると思うんですが、更にこの後議論していただいて進めたいと思いますのでよろしくお願いします。

5月頃には新年度予算のこともありますし、水道など浜田の色んな案件が出てきますので、ある程度内容やテーマ設定について少し議論したいと思います。

牛尾昭委員

テーマ設定は、現時点では例えば浜田城周辺整備や水道料金値上げの問題がありますが、やがて市長が市政方針を出してくる中で新しいメニューがあるかもしれないし、柔軟にもう少しテーマについては待ってから、いつか絞り込んだ方が良い気がします。5月の連休明けにやるわけですから、それぞれのテーマにいくつか絞って各地へ振っていく。

ただ、新年度1回目はとりあえず報告会はするけど後半は意見交換会みたいな形でやるという付帯意見があったので、あとは皆さんがどういう意見をお持ちか。2回目については純然たる意見交換会で良いだろうということで。複数が言っていますのであとはメンバーの皆さんがどのように思われるか。一つ一つ決めていった方が良いでしょう。

芦谷委員長　　今の提案は、年2回やって、1回目の5月は前半で状況説明をして後半でグループ方式の討論、10月にやる方は最初から意見交換会、ということですね。

牛尾昭委員　　はいそういうことです。

芦谷委員長　　それに対する意見があればお願いします。
（ 「なし」という声あり ）
では基本線はそういった方向でやるということによろしいですか。
（ 「はい」という声あり ）

田中書記　　よろしいですか、すみません。確認ですが、前半報告後半意見交換ですが、最初からグループで分かれて、そのグループに座っておられる委員さんが報告をする、これで間違いはないですか。全体にではなく。

芦谷委員長　　それは全般的な問題になるので、ざっと全員に対して言って、そのことをもってグループで後を詰めるという感じも考えられるからね。それはまた少し検討しましょう。

田中書記　　はい分かりました。

芦谷委員長　　グループで説明するのが良いか、全体でやってグループで議論するのが良いか。

牛尾昭委員　　複数だったらグループというのも可能だけど、南足利は、前半は議会報告会で後半がテーマなんですよ。テーマにしている部分はないし、やり方については今そこまで決めなくて良いような気がします。

芦谷委員長　　だから今の部分を含んでもらって、どちらにも行くような形で少しぼんやりとした方向を出してもらって。色んなことによっては全体で説明してグループで議論ということになるし、テーマが細くなればグループで説明でもなるかもしれないし。

牛尾昭委員　　弥栄のテーブルが頭にあるから、全体でやってあれをテーマに分けるといってそれだけで20分くらいかかるなと思ったら勿体ないと思えば、テーマがいくつもあるなら最初から分けておいて、それぞれのグループでやった方が良くないかと。野藤委員が言われるような形が良いかなと思うけど。僕も弥栄しか経験してないので、他のレイアウトが……。旭なんかは途中からあの島に分けろと言ったら大事になるよ。

野藤委員　　ある程度、最初島に議員が座っていていらっしやいませという感じでやりますよね。本日の流れが最初に説明されて、挨拶の時には議員全員が前に出て挨拶して、予算等をやって、また元の島に戻る方法の方が親しみが湧くのかなと。始めは議員用の席だけ開けておいて後から議員が行くよりは、最初から座っていた方が。テーマが少なくても出る意見は個々別々な

ので、それでも良いのかなと。

田中書記 グループにはもう分かれておいて、全体で説明をするということですね。

野藤委員 そう、その方が流れが早いかなと。

牛尾昭委員 同じ会場で式典と宴会やるのと一緒ですわ。とりあえず島に座っているんだけど全体の式典をやると。

野藤委員 そうそう。

外浦次長 分かれてそれぞれの説明となると、説明の中身が個々で違って……それは無いとは思いますが。

野藤委員 個々で予算の説明をするなり何なりは、ちゃんと説明資料がありさえすれば説明をして、それに対する質問は控えておけば良いので、それでも良いのかなと。

牛尾昭委員 野藤さん、今の話は説明は全体でやって。

野藤委員 全体でやると言ったんですが。その方が、最初はウェルカムで……。スムーズにと思ったんですが。

芦谷委員長 では議会報告会、井戸端会については、今までのことも踏襲しながら、こういうイメージで良いですか。

田中書記 テーマは後から決めるということですね。

芦谷委員長 え。

田中書記 テーマは市政方針をもって決めるということですね。はい。

芦谷委員長 班編成もね。

田中書記 班編成もあとから決める。

串崎委員 テーマは浜田市は先ほど言ったように市内は地域協議会の力があまり無いように感じますが、那賀郡は地域協議会が力を持っていますので、出来れば10月の分に関しては協議会に諮っていただいて決めてもらうのかなと。そうなってくれば協議会の方は皆出て来られるでしょうし、人数も増えるという感覚はあります。

田中書記 はい。

芦谷委員長 ありがとうございます。

牛尾昭委員 足立委員から提案のあった常任委員会ごとにやろうじゃないかという話も貴重だと思います。今までは議会報告会をメインに考えていましたから、すべての常任委員がいないと答えられないということでそういう班編成をしていましたが、今日やるのではなくまだどこかで……それもありかなと。毎年あるわけですから、今年は常任委員会単位でやろうやということも良いんじゃないかと。流山も……全国でも偏差値の高い市議会ですが、そういうやり方も時にはあるのかなと。今年やるやらないではなくて、固めて

芦谷委員長
柳楽委員

しまわないのもありかなと思ったりしますので、どこかで検討する必要があるのではないかと思います。

ありがとうございました。

春の議会報告会の後に意見交換会の場合、意見交換会であまり大きな問題を取り上げると、話が本当に中途半端な所で終わるようなことになるのかなと思います。それと、どこの会場も共通のことに対してどのように考えておられるのかなという部分もお聞きしてみたいなど、私自身の中にあります。自治区制度の分でも色々ありましたが、各自治区や会場の方たちが一つのテーマに対してどういう認識というのを知る為にも、そういう形も良いのかなと思います。

芦谷委員長

意見交換の時間が足りないかもしれないよね。大きな問題だと議論が散漫になるかもしれないよね。

野藤委員

結論をそこで出すものではないし、ご意見を聞いてまた敲く作業をするので、どちらにしても時間は足りないとは思いますが。

田中書記

あとは場所ですね。会場と言いますか、もう場所を取っていかないといけないので。

芦谷委員長

報告会の場合には8ヶ所かな。

田中書記

10月の分は6ヶ所ですね。報告会は10ヶ所です。

芦谷委員長

どうですか、6かな、8かな。

牛尾昭委員

秋の場合は旧那賀郡の4自治区と浜田を石見と浜田に分けたんだよね。

田中書記

そうです。5月は毎年行ってきた10ヶ所どおりに

芦谷委員長

10ヶ所ね。

牛尾昭委員

春は10ヶ所やれば良いかなとりあえず。

芦谷委員長

回数は細かくしてあげないとね。

田中書記

会場は今から押さえるんですが、去年と同じどおりでよろしいですか。

足立委員

去年はいつからでしたっけ。

田中書記

前回で予定したのが5月9日から13日の週と言われていますが、そこで取ってもよろしいですか。

牛尾昭委員

そこを押さえるしかないんじゃないですか。

芦谷委員長

はい。

田中書記

金城のみどりかいかんが改修に入るので、この間は今福公民館を取りましたが。

牛尾昭委員

良いんじゃないですか。

田中書記

今福公民館で良いですか。

芦谷委員長

しょうがないな。

田中書記 あとは通常どおりでよろしいですか。長浜、周布、浜田、国府、石見、美川。金城は今福公民館、三隅公民館、旭センター、弥栄会館、でよろしいですか。

芦谷委員長 それでいきましょう。

牛尾昭委員 弥栄は公民館でやるというのは出来ないんでしょう。

串崎委員 やれますよ。福祉センターの2階もありますし。

牛尾昭委員 たまにはどうなの。

足立委員 去年は土曜がありましたが、今年はどうされますか。

田中書記 土曜は去年は、5月16日(土)、午前を周布公民館、午後を石見公民館、周布の参加者は14人、石見公民館は24人。同じく午前を浜田公民館、午後を長浜公民館で、浜田が12人で長浜が6人。

牛尾昭委員 長浜はいつやっても少ないね。

田中書記 長浜は16日(土)の2時から3時半です。浜田公民館もこの日は100人委員会をしていらしたのでちょっとあれなんですけど、結局この土曜開催もあまり変わらなかったんですが、テーマを子育て等にするのであれば土曜の方が良いかと思いますが。

牛尾昭委員 土曜に入れますか、午前午後。そうしたら4ヶ所稼げるから、あとの日程が楽だけどね。

野藤委員 入れた方が良くと思います。

芦谷委員長 ではそれで。

牛尾昭委員 午前午後入れれば4ヶ所出来るからあと6ヶ所。

野藤委員 どの道、参加はどここの会場でも自由としているので。

足立委員 だったら9外せるね。

田中書記 では5月10日から14日の間で良いですか。土曜開催は午前と午後。公民館の予定もあると思うんですが、土曜に持ってくる所というのは決めた方が良いですか。公民館の都合に合わせて良いですか。

岡野委員 調整があると思うので。既に予約が入っているかもしれない。

田中書記 向こうの都合で良いですかね、はい分かりました。多分仮押さえをしておいて、4月になったら一杯入ってくるので4月までに仮押さえをしておかないと。

 (「多分大丈夫だろう」 という声あり)

野藤委員 去年は100人委員会と被ったということですが、ある程度調整と言うか、周知をしておいた方が。

牛尾昭委員 去年は「行きたいのに100人委員会とぶつかるから」という声が複数あったからね。

芦谷委員長

では会場の件はお願いします。議会報告会、井戸端会については、ほぼ方向が出たのでこの形で閉じようと思います。

2. その他

芦谷委員長

次の会議をどうしましょうか。色んなことを確認しないといけないと思うんですが。何日頃に設定した方が良いの。

田中書記

3月定例会の一般質問最終日に委員会を開くようなので、それまでの所でということですかね。

芦谷委員長

3月1日までしなくても大丈夫なの。

外浦次長

先ほどの、選挙関係を学生さんに周知する件をどのような形にするかですが、報告会とは別の話として捉えれば良いですか。

芦谷委員長

これは提案をして大なまり、話を水面下でしている部分があるので、何校かでも「是非やってくれ」という話があれば、議運や正副議長と相談しながら広報でしなさいということになれば、広報広聴委員会の中でということでも考えられないかなと思った。報告会とは別枠で。

牛尾昭委員

委員長、だから15日が議運だからその前に1回やらないといけないということでしょう。

外浦次長

そうですね。

芦谷委員長

そのことも含めて、詰めの話も含めてやったらどうかと思うんですね。

外浦次長

議運の中で話をするのでしたら15日で一応こういった話を説明して、それを受けてこちらを開催かなと思いました。

牛尾昭委員

委員会やらないといけなくなるでしょう。やらなくていいの。

外浦次長

先に議運にかけた方が良くと思います。

牛尾昭委員

そうか。

芦谷委員長

分かりました。それでは15日か16日であれでしょうかね。議運で説明をして、一定の話が出ればそれを含んで議論をして、更に議会報告会の関係を詰めましょうか。ということで15日もしくは16日。

牛尾昭委員

15日は午後から市長へあるから無理だ。それが終われば良いけど。これ全員出席か、あれは1時半からかな。

(「はい」という声あり)

2時間あれば終わろうじゃない。

柳楽委員

4時までになっています。

牛尾昭委員

4時までね。

足立委員

それと公共施設があるから……。

牛尾昭委員

4時には終わらないな。

足立委員 それよりも、広報広聴の話があまり長くないのであれば、議運の前の9時半から30分でされるか。

田中書記 議運で1回諮って……。

足立委員 議運で長いですかね。

外浦次長 午前中にはなると思います。

牛尾昭委員 16日だと事務局が大変だろう。

外浦次長 16日は……。

芦谷委員長 それなら15日の、議論する場が終わった後、4時でも4時半でも。

串崎委員 15日の12時半からでは駄目なんですか。1時間もあれば終わるんじゃないですか。議運も12時までにはかからないでしょう、いくらなんでも。

牛尾昭委員 食事する間が無いよな。議運が11時半まであって……。

 (以下、次回予定について議論)

牛尾昭委員 それなら15日の、公共施設の関係の話が終わり次第、30分くらいの目安で行いたいと思います。よろしくお願いします。

 他に何かありませんか。

牛尾昭委員 去年ファシリテーターの研修会をしましたが、予算があれば今年も、同じ講師さんでも違う講師さんでももう1回くらいやっても良いような気がするんですが。僕ら分かったような気になっているけど。もう1回、2時間くらい講義を受けた方が良い気がするんですが。一応その他の意見です。

芦谷委員長 その辺は検討出来ますかね。日程予算を含めて。

外浦次長 これは、去年は議運主催という形なので。議運の中で恐らく話を……色んな研修をするかどうかに関して、中身も含めて。その中の候補の一つとして、昨年と同じような研修を、という話をさせてもらっても良いかなとは思っています。

芦谷委員長 今度議運に話した方が良いの。

外浦次長 それはまだ……議運の中で。

牛尾昭委員 新年度の話だ。

芦谷委員長 はい分かりました。広報広聴の視察については話をしたことはないよね。今までの経過を踏まえて。

田中書記 視察ですか。報告会の話は終わりで良いですか。

田中書記 視察に関してはもう一つ、すみませんこれは全体でお話をするのではないので、他に何か候補地があれば言っていたきたいと思います。

牛尾昭委員 これは私から提案させてもらって、事務局に資料を集めてもらったもの

です。一つの提案です。ですから他にあればその中でどれかになると思います。

芦谷委員長

日程的には25日ということだったかな。

田中書記

日程は5月の16、17、18で多分。この間言ったと思いますが。

牛尾昭委員

福祉とぶつかるからということ。

芦谷委員長

ああそうか。16日ね。

田中書記

5月ですね。

芦谷委員長

5月16日から。

田中書記

16、17、18日です。

芦谷委員長

分かりました。大変失礼しました。ということで桐生市、あきる野市で
すかね、これを一案として出していただいて、これを5月の16日から3日間
の基本的な日程を決めていただいて。もし他に何かあれば出していただい
て。早急に詰めますのでお願いします。

串崎委員

良いと思います。

牛尾昭委員

内容の説明は良いですかね。口頭で言いましたけど。

(以下、資料をもとに説明)

芦谷委員長

今の話について何か質問等がありますか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、一応この提案を整理しながら日程を組んでもらいます
ので、よろしくをお願いします。

牛尾昭委員

萩・石見空港を使うのを前提で、この日程を組みましたので。ご理解を
お願いします。

田中書記

幹事を……。

芦谷委員長

ああそうだ。世話をする幹事と2人かな。

田中書記

はい、一応2人くらいで。

牛尾昭委員

僕とあと、フットワークの良い方。

芦谷委員長

では、日程調整等もありますので幹事役を2人。牛尾昭委員にサブやっ
てもらって、誰かもう1人。

牛尾昭委員

野藤委員さん。

野藤委員

私はフットワーク軽くないです。

芦谷委員長

サブからの指名ということで、野藤さんをお願いします。

野藤委員

私がメインですか。

芦谷委員長

はいそうです。

牛尾昭委員

よろしくをお願いします。

芦谷委員長

では、視察の幹事はメインが野藤さん、サブが牛尾昭委員ということで。

野藤委員
芦谷委員長

事務局に相談して、事務局の指示に従いたいと思います。
では今日は終わらせていただきます。しっかり詰めをしながら15日の議
運でも計りながら、その結果をもってまた15日の会議が終わった後でこの
会を持つということでもよろしく申し上げます。ありがとうございました。

[11時 15分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 芦谷英夫